

お問い合わせ

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 [芸団協(げいだんきょう)]
 Tel: 03-5353-6600 (平日10時~18時)
 Eメール: okinawa@geidankyo.or.jp
 http://www.geidankyo.or.jp/okinawa/

申し込み方法

下記のフォームに必要事項を明記の上、
 Fax、Eメールいずれかの方法でお申し込みください。

Eメール: entry@geidankyo.or.jp
Fax: 03-5353-6614

- ※すべての講座を受講される方を優先します。
- ※複数人の場合は、申込用紙を複製してお一人ずつお申し込みください。メールで申込みの場合は、各人の担当職務、参加希望の講座番号がわかるように明記してください。
- ※会場の都合上、申込み多数によりご希望に添えない場合はその旨ご連絡いたします。
- ※当日は、写真撮影、録音、録画等を行います。
- ※頂戴した個人情報をもとに、氏名・所属先を明記した受講者リストを当日配布いたします。
- ※頂戴した個人情報は、「沖縄県アーツマネージャー育成事業」に関連するご案内等に使用いたします。

申し込みフォーム Fax:03-5353-6614

フリガナ	所属(団体・館名)
氏名	担当職務
住所	〒
Tel	Fax
E-mail	
希望の回に ☑をしてください	<input type="checkbox"/> すべて受講 <input type="checkbox"/> 講座4(10/27) <input type="checkbox"/> 講座5(10/28) <input type="checkbox"/> 講座6(11/7) <input type="checkbox"/> 講座7(11/8) <input type="checkbox"/> 講座8(11/22) <input type="checkbox"/> 講座9(12/3) <input type="checkbox"/> 講座10(12/5) <input type="checkbox"/> 講座11(12/19) <input type="checkbox"/> 講座12(12/20) <input type="checkbox"/> 講座13(1/17) <input type="checkbox"/> 講座14(1/23) <input type="checkbox"/> 講座15(1/24) ※講座1~3は終了しました

MAP 1

沖縄産業支援センター
 (那覇市字小祿 1831-1)
 Tel 098-859-6234

MAP 2

沖縄県男女共同参画センター ているる
 (那覇市西 3-11-1)
 Tel 098-866-9090

MAP 3

浦添市産業振興センター 結の街
 (浦添市勢理客 4-13-1)
 Tel 098-870-1123

沖縄県アーツマネージャー
 育成事業とは

沖縄では、県内に存在する多様な豊かな文化芸術資源を活用した文化芸術活動をさらに活発にし、文化産業を創出し、観光産業にも寄与することが課題となっています。この課題に対する県の施策のひとつとして、平成25年度より、県内の文化芸術活動を運営面から支える人材の育成に取り組んでいます。この事業は、芸術活動・公演制作の実施過程や要素を体系的に学ぶ「アーツマネジメント講座」と、文化施設や芸術団体等で実務を通じた研修を行う「アーツマネジメント研修派遣」で構成されます。

アーツマネジメント講座 2016

ARTS MANAGEMENT SEMINAR 2016

2016年 **10**月 ▶ 2017年 **1**月

会場 **沖縄産業支援センター
 沖縄県男女共同参画センター ているる
 浦添市産業振興センター 結の街**

主催：沖縄県(アーツマネージャー育成事業) 事務局：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]

沖縄の芸術を世界へ
 世界の芸術を沖縄へ
 文化芸術を通して、
 人と人、地域をつなぐ

沖縄には、組踊、琉球舞踊、沖縄芝居といった固有の芸能や、音楽、演劇など、芸能があふれています。これらの豊かな文化芸術を生かし、地域の活性化につなげるとともに、観光産業の資源としての活用も考えていくことが、県の重要な施策のひとつとなっています。

こうした文化芸術活動を継続し、さらに活性化していくためには、運営面から支える人材が必要不可欠です。

文化芸術団体、劇場やホール等の文化施設、文化行政等の実務者の方々、そしてこれから文化芸術活動に携わりたいと考えている方々に向けて、「アーツマネジメント講座 2016」を開催します。

沖縄の芸能の魅力を県外、そして世界へ発信していくこと。また、沖縄の人たちが多様な文化芸術に触れる機会をつくること。

各分野の第一線で活躍する講師陣の講義と意見交換を通して、アーツマネジメントの基本を学び、沖縄における文化芸術活動の展開をとともに考えましょう。



参加費無料 (要申込み)

文化芸術活動を広げていくためには、どのようなことが重要でしょうか？

公演等を企画するときに、文化施設であれば地域にとって意義のあること、芸術団体であれば質の高い作品を発表することが念頭にあるかもしれません。なにをどこで行うのか、対象によって、企画や資金調達の方法も変わってきます。

講座 4 地域と演劇 ～ツアー公演と社会包摂プログラム

地域の文化施設を回るツアー公演を成功させるには？数々の沖縄公演を手がけた青年劇場の事例をもとに公演制作のポイントを学びましょう。また、近年関心の高まっている社会包摂プログラムとして、足利市、和歌山市での市民劇団の事例をご紹介します。

日時 10月27日(木) 18:30-20:30

会場 沖縄県男女共同参画センター ている **MAP 2**

講師 佐藤尚子(青年劇場) 栃木県出身。青年劇場付属養成所を経て1981年、青年劇場入団。舞台を中心に女優として活躍する他、1982年より各地でワークショップを行う。足利市では、長年文化コーディネーターとして、地域コミュニティづくりに携わる。主な出演作品に、舞台「翼をください」「真珠の首飾り」「旅語」「普天間」、NHKドラマ「戦国武士の有給休暇」など。

福島明夫(青年劇場代表) 1977年、秋田雨雀・土方与志記念青年劇場入団。「翼をください」「真珠の首飾り」「普天間」「臨界幻想2011」など、多数の公演製作を手掛ける。1988年より製作部長、1997年より代表。2009年より公益社団法人日本劇団協議会専務理事。日本新劇製作者協会理事。2014年より公益社団法人日本芸能実演家団体協議会常務理事。

講座 7 観客をつくり出す② ～告知・チケット販売

公演の広告宣伝は、どうすればより効果的に行えるのでしょうか？そして、実際のチケット販売につなげるには？近年、インターネットやスマートフォンの普及で多様なサービスが広がっている広告宣伝やチケット販売について考えましょう。

日時 11月8日(火) 18:30-20:30

会場 沖縄県男女共同参画センター ている **MAP 2**

講師 樽松大剛(カンフェティ/ロングランプランニング(株)代表) 1975年、東京都世田谷区出身。早稲田大学人間科学部卒。法政大学大学院でMBA取得。日本電気株式会社(NEC)の計画部・財務部で7年勤務後、2004年ロングランプランニング株式会社を設立。主な事業は、チケット販売(カンフェティ/TicketsToday)、冊子発行(カンフェティ=月刊18万部)、印刷、チラシ配布、旅行業など。2015年度は売上高20億円、社員数32名。

講座 5 公演のための体制づくり ～外部資金導入のために

公演は、芸術団体、劇場や音楽堂が企画するもの、制作会社やイベントが行うもの、行政が行うものと様々です。それぞれ共催や後援、協賛、寄付といった形で公演実施に向けた協力体制が組まれますが、運営のポイントは何でしょう？国や民間の文化芸術支援の考え方を学び、公演の財務構造と資金調達について考えましょう。

日時 10月28日(金) 18:30-20:30

会場 沖縄県男女共同参画センター ている **MAP 2**

講師 石田麻子(昭和音楽大学教授/オペラ研究所所長) 国内外の歌劇場や芸術祭の組織運営、オペラの受容構造や創造活動、人材育成手法などの研究活動を行っている。(独)日本芸術文化振興会プログラム・オフィサー、日本音楽芸術マネジメント学会理事、『日本のオペラ年鑑』編纂委員長(文化庁委託)、共著に『クラシック・コンサート制作の基礎知識』。

講座 8 ここだけはおさえない！ 契約の基礎知識

公演等の実施には、主催者と出演者、会場との契約がつきものです。関係者間で日程や内容、費用を明確にし、また、出演者の音源や映像等の利用についても事前に確認することで、トラブルが回避できます。創造を護り、作品の良循環を支えるために、契約と著作権の基礎を学びましょう。

日時 11月22日(火) 18:30-20:30

会場 沖縄県男女共同参画センター ている **MAP 2**

講師 安藤和宏(東洋大学法学部准教授) 1963年、東京都葛飾区出身。フランクリンビヤース・ローセンター、ワシントン大学ロースクール修了、早稲田大学大学院博士課程修了。高校教諭、複数の音楽出版社、北海道大学大学院特任教授を経て、音楽ビジネスのコンサルティングを行う株式会社セプティマ・レイ代表。専門は知的財産法、音楽ビジネス論、『よくわかる音楽著作権ビジネス』など著書多数。

講座 6 観客をつくり出す① ～企画・宣伝力を磨く

もっとたくさんの人に公演に足を運んでもらいたい！そのために重要なのは、企画を伝えるチカラ。人を振り向かせる企画書やチラシ作成のポイントは？あなたの創造力を引き出してみましょう。

日時 11月7日(月) 18:30-20:30

会場 浦添市産業振興センター 結の街 **MAP 3**

講師 伊藤総研(編集者/ディレクター) 1974年、福岡県生まれ。横浜国立大学卒。雑誌や書籍の企画・編集・執筆のほか、広告キャンペーン、映像、ウェブサイトなどの企画制作、ラジオ構成作家など幅広い分野で活動中。主な仕事に、「今日の糸井重里」、「三谷幸喜失踪事件」(以上「BRUTUS」)、広島県「泣ける」(広島県)、三越伊勢丹「もてなしの教室」、ユナイテッドアローズ「UNITED 世界を変えるARROWS」など。

講座 9 会計の基礎を身につける ～芸術活動を継続するために

組織のキャッシュフロー(支出入の流れ)が行き詰まると、組織存続の危機に直面します。芸術活動においても、日々の会計処理を的確に実施し、財政を正確に把握することが重要です。基礎的な知識と実践で、会計のキホンを身につけましょう。

日時 12月3日(土) 13:30-17:45

会場 沖縄産業支援センター **MAP 1**

講師 田坂 公(福岡大学商学部教授) 中央大学商学部卒業後、博士号取得。専門は会計学。2016年より現職。現在、公認会計士試験委員(管理会計論)。資格の学校TAC等で簿記講座、公認会計士講座の講師を歴任。「資格試験の神サマ」(1997年 講談社)、「日本紳士録」(2002年 交詢社)に掲載される。「会計を通じて人を幸せにする」をモットーに、全国で出前講義を行う。

そして、作品創作のプロセス、より多くの人々と価値を共有するための仕組みづくりなど、具体的な例をもとに、様々な角度から考えます。

また、事業を持続的に行うための体制づくり、広告・宣伝、会計の基礎、契約と実演家の権利、芸術活動のための環境整備など、実践もまじえながら、すぐに応用できる知識を身につけましょう。

講座 10 日本舞踊と花柳界 ～新潟の市山流宗家に学ぶ

新潟を本拠とする市山流は、舞踊公演が高く評価される一方、およそ30年にわたり柳都振興株式会社が育成する芸妓志願者たちへ日本舞踊の指導を行っています。時代の変化の中でも脈々と受け継がれてきた芸能と地域社会との関わり、その奮闘をうかがいます。

日時 12月5日(月) 18:30-20:30

会場 沖縄産業支援センター **MAP 1**

講師 市山七十世(日本舞踊家) 市山流は18世紀半ば大阪・上方の歌舞伎役者を祖とし、三代目が新潟に本拠を置いて以降、新潟の舞踊会や花柳界の発展に尽力。2004年に新潟市無形文化財となる。七十世氏は、多くの舞踊公演を手掛け、市山流の魅力を積極的に内外発信。1994年文化庁芸術祭賞を受賞し、2006年より七代目宗家。

講座 11 あらゆる人々の芸術体験のために ～芸術をつくる側から考える鑑賞・体験サポート

公演を誰もが楽しめる環境をつくるには？ちょっとしたサポートがあることで、視覚や聴覚などの障害がある人も公演に足を運ぶことができます。企画する側ができることを一緒に考えてみませんか？※手話通訳およびUDトークによる文字支援あり。

日時 12月19日(月) 18:30-20:30

会場 沖縄産業支援センター **MAP 1**

講師 廣川麻子(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)理事長) 1994年、日本ろう者劇団入団。2009年、ダスキン障害者リーダー育成海外派遣事業にて英国で障害者の演劇活動をテーマに研修。2012年に観劇支援団体「シアター・アクセシビリティ・ネットワーク」を立ち上げ、俳優、制作、ワークショップ、企画運営など演劇を中心とした活動を展開している。2015年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

講座 12 舞台の形而上学 ～日本の伝統芸能を中心に

公演の会場は様々ですが、上演内容によって適する会場も異なります。雅楽、能、歌舞伎、組踊、日本の伝統的な舞台は、どのような哲学のもとに作られているのでしょうか？西洋の額縁型のプロセニウム舞台やコンサート・ホールとの違いもふまえ、様々な舞台構造を紐解きます。

日時 12月20日(火) 18:30-20:30

会場 沖縄産業支援センター **MAP 1**

講師 茂木仁史(国立劇場おきな調査養成課長) 1981年より国立劇場で歌舞伎・民俗芸能・雅楽・声明・琉球芸能等の企画・制作・演出を手掛ける。2001年より3年間の基金部担当を経て、04年より国立能楽堂・09年国立演芸場の企画制作。現在、国立劇場おきな調査養成課長として、琉球芸能の調査研究と組踊伝承者の養成に携わる。著書に平凡社新書「入門日本の太鼓」ほか。

講座 13 そのときどうする？ 出演者の傷病対応

稽古場で、劇場で、出演者が怪我をしたり、具合がわるくなったとき、スタッフはどう対処したらよいのでしょうか？スムーズに行動できるように必要な事前の備えから、いざというときの応急処置の演習まで、実践的に学びましょう。

日時 1月17日(火) 18:00-20:30

会場 沖縄産業支援センター **MAP 1**

講師 湯浅政紀(アスレティックトレーナー/JUNGLE GYM所属) L.S.F.A.(応急処置資格)認定インストラクター、鍼灸師。某テーマパーク内ダンサー専用施設や企業ラグビーチームにて専属トレーナーとして活躍後、現在はトレーニングジムにて、ダンサーやアスリート、一般等、幅広い対象にパーソナルトレーニングの指導、施術を行っている。

小曾根史代(NPO法人芸術家のくすり箱理事・事務局長) スポーツクラブ運営会社やIT企業にて、人々の健康をサポートするスタッフ業務に従事。2005年、芸術家の才能をサポートするNPO法人「芸術家のくすり箱」の立ち上げに参加。アーティストの活躍に生きるコンディショニングや治療の専門家とのネットワーク作り、マッチング等に奔走中。

講座 14 人と人、世代と世代を繋ぐ、地域の芸能 ～三陸国際芸術祭の事例から

コンテンポラリーダンスの分野から、震災後、東北の芸能に関わり、三陸国際芸術祭を開催するようになって3年。被災地の方々と芸能を通して感じたこと、かながえたことをうかがいます。地域での芸能の役割、日本の文化の在り方、世代を超えて繋がるコミュニティなど。

日時 1月23日(月) 18:30-20:30

会場 沖縄産業支援センター **MAP 1**

講師 佐東範一(NPO法人JCDNエグゼクティブ・ディレクター) 1960年北海道生まれ。1980年・1994年「白虎社」舞踏手兼制作者として活動。1996年1年間アメリカにてアーツマネジメント研修。3年間の準備を経て、2001年よりNPO法人JCDN(ジエフシーエフオー リーダース・ネットワーク)を立ち上げ、全国各地で社会とダンスの接点をつくる活動を展開。2014年より三陸国際芸術祭プロデューサー。

講座 15 個人と文化芸術 ～制作者はなにをつくるのか？

芸能が好きで公演活動を続けていたり、偶然劇場で働いていたりと、文化芸術への関わり方は人それぞれです。そこからやりたいこと、思い描くことを実現していくには？地域を拠点に活動すること、制作者の役割を考えながら、前に進むヒントを得ましょう。

日時 1月24日(火) 18:30-20:30

会場 沖縄産業支援センター **MAP 1**

講師 平松隆之(劇団うりんご制作部長) 子ども、地域、演劇に関する様々な活動を行う。阪大1期WSD・NPO芸術の広場ももも理事・名古屋学生演劇祭アドバイザー・せんだい短編戯曲賞選考員。主なプロデュース「お伽草紙/戯曲」(演出＝三浦基)、「妥協点P」(作/演出＝柴幸男)、「めぐる、ぐるぐる。」(作/演出＝永山智行)。